

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-01-07
事務事業名	児童遊園地管理事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	S46 ~		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	こども課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	こども福祉係長 藤田 政宣
小項目 施策	子育て支援	電話	0869-64-1825

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	地域の児童及び保護者
目的(何のために)	次世代を担う児童が地域で安全にのびのびと遊べる場を提供する。
行政活動(どのような方法で)	児童が安全に遊べる遊具等を点検し、随時修理する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	事故の未然防止に努め、安全安心な遊びの場とする。

事業の実績					
	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
活動実績	遊園地数	ヶ所	31	32	32
	修理件数	ヶ所	5	9	16
	事業費	千円	1,892	2,144	4,394
	人件費	千円	3,630	2,388	634
	事業費計	千円	5,522	4,532	5,028
	財源	千円			330
	国県支出金				
	受益者負担				
	一般財源		5,522	4,532	4,698
	必要人員	人	0.40	0.31	0.08
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	遊園地数	説明	市が管理する児童遊園地数		
	結果指標量	ヶ所	31	32	32
	対前年比	%	-	103.2%	100.0%
	活動コスト	円	4,521,985	3,369,125	1,557,207
	単位当たりコスト	円	145,870	105,285	48,663
	修理件数	説明	遊具等の施設修繕、工事箇所数		
	結果指標量	ヶ所	5	9	16
	対前年比	%	-	180.0%	177.8%
	活動コスト	円	1,000,000	1,162,697	3,471,248
単位当たりコスト	円	200,000	129,189	216,953	

事業の成果			
成果指標名	児童遊園地で発生した事故件数	式又は説明	修理の不備による事故をなくする。
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	0	0	0
対前年比			
到達目標値	事故件数 0	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価 <A~E> C 課題認識	
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	児童遊園地の設置については、充足していると考えられる。	
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		効率性評価 <A~E> C 課題認識
	手 段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		施設の老朽化が進み遊具の修繕、撤去、新規設置に事業費がかかるが、現在、あまり利用されていない施設については、遊具等の撤廃など見直しをしていく必要がある。実測により人件費、必要人員が減となっているが、適正な安全管理を維持しなければならない。
	職 場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	有効性の評価	目的達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
成果向上の可能性		<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		維持管理については、安全性の面から市が関与するが、地元住民の参加による地域組織活動を促進していく必要がある。
市民参画度		<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	法的拘束力はないが遊具の耐用年数表示をする動きがある。事故が発生した場合の責任の所在が明確になるため、より適正な管理を必要とする。		
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了				
目標値	結果指標量		児童遊園地数 32ヶ所	結果指標量	修理件数 10件
	成果指標量		事故件数 0件		

総合評価		評価区分 <A~E> C	
児童遊園地の施設数は充足していると考えられる。施設が老朽化してくることから、緊急性や安全性を重視し事業を進める。ただし、利用者数や、地域要望を考慮しながら遊具等の撤廃も考える必要があると考える。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	維持管理については、更なる地域管理を促進していく。	毎年	地域住民が管理に関わることで、地域ぐるみの利用促進が図れる。
有効性	各地区の実情を踏まえつつ、遊具等の撤廃を含めた見直しにより施設整備を図る。	毎年	子どもたちが安心して遊べるよう質的整備が促進される。